

2013年5月1日
株式会社損害保険ジャパン

「損保ジャパン笑顔届け隊！」が岩手県釜石市で舞台劇を公演

株式会社損害保険ジャパン（社長 櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）は、NPO愛知人形劇センターと連携して、3月20日（水・祝）、21日（木）に岩手県釜石市にて舞台劇の公演を実施し、子どもたちや保護者の皆さまを中心に約80人にご来場いただきました。

当日は、『おおきいねずみとちいさいねずみ』の舞台劇を公演したほか、来場された方々に全国の社員ボランティアが作成した手作りプレゼントやメッセージカードをお渡ししました。

【公演日】 2013年3月20日（水・祝）、21日（木）

【場 所】 「長内集会所」（岩手県釜石市鶴住居町）
「甲子子育て支援センター」（岩手県釜石市甲子町）
「釜石市立第一幼稚園」（岩手県釜石市天神町）

【開催経緯】

損保ジャパンは、愛知県名古屋市に人形劇専用劇場「ひまわりホール」を所有しており、劇場の運営団体であるNPO愛知人形劇センターとともに地域貢献活動に取り組んでいます。

東日本大震災の発生を受け、損保ジャパンとNPO愛知人形劇センターは「損保ジャパン笑顔届け隊！」を結成し、2012年3月および8月、仮設住宅に居住されている方々向けに釜石市で人形劇を公演しました。

今年3月にも、人形劇や舞台劇の公演を通じて地域の皆さんが集まるきっかけとなり、会場いっぱい子どもたちの笑い声が広がればとの思いからNPO愛知人形劇センターおよび「ひまわりホール」で活動する「劇団そらのゆめ^(※)」と連携し、釜石市で舞台劇の公演を行いました。

【活動内容】

公演当日は、子どもたちや保護者の皆さまを中心に約80人の方に参加いただきました。子どもたちは、劇団員のセリフのないお芝居を見ながら、演技に合わせて手を叩いたり、驚いたり、笑ったりと、夢中になって舞台劇を楽しんでいました。保護者や関係者の皆さまからは、「子どもたちが楽しそうに笑っていて嬉しかったです。私も笑顔でゆっくりと過ごせました。」などの感想をいただきました。

また、全国の社員ボランティアが作成した手作りのプレゼント（自宅等、室内でも遊べるフェルト布ボール）やメッセージカードもお渡ししました。なお、同じNKSJグループの日本興亜損害保険株式会社の社員も社員ボランティアとして参加しています。

※「劇団そらのゆめ」について

子どもたちが、心も身体も健やかに育つ平和な社会を願い、夢や理想を描き、語り合えることを大切にしたいという想いから出発した名古屋を拠点に活動する劇団です。5作のオリジナル作品を持って全国を巡演中です。

【社員ボランティアによる手作りプレゼントとメッセージカード】



【釜石市立第一幼稚園での公演の様子】



以上